

## 平成29年度 研究・調査企画会議 事後評価部会（第2回）

### 議事概要

1 日時：平成29年7月26日（水）13：00～14：50

2 場所：食品安全委員会中会議室

3 出席者（5名）五十音順

圓藤 陽子（圓藤労働衛生コンサルタント事務所所長）

◎尾崎 博（東京大学名誉教授）

鬼武 一夫（日本生活協同組合連合会品質保証本部安全政策推進室室長）

眞鍋 昇（大阪国際大学教授（学長補佐））

四方田千佳子（神戸薬科大学特任教授）

（欠席者）

岡部 信彦（川崎市健康安全研究所所長）

村田 勝敬（秋田大学大学院医学系研究科教授）

望月 眞弓（慶應義塾大学薬学部教授・慶應義塾大学病院薬剤部長）

（◎：座長）

その他、食品安全委員会から佐藤委員長ほか3名が、事務局から小平次長ほか9名が出席

4 議事概要

（1）食品安全確保総合調査の事後評価結果（案）について（報告）

○ 事務局から、平成28年度に実施した以下の食品安全確保総合調査課題について、事務局が行った事後評価の結果が報告された。

<28年度実施課題>

①畜水産食品における薬剤耐性菌の出現実態調査（水産関連プロトコル作成）

②清涼飲料水中の化学物質（六価クロム）の規格基準改正に係る食品健康影響評価のための情報収集・調査

③アレルギー物質を含む食品のリスク評価方法に関する調査④鉛の食品健康影響評価のための情報収集・調査

④カンピロバクター属菌及びノロウイルスのリスク評価の検討に関する調査

⑤動物用抗菌性物質の微生物学的影響についての調査

⑥原材料に着目して料理を品目に細分化する手法等に関する諸外国の実態調査

⑦次世代シークエンサーの活用状況等に関する調査

(2) 平成28年度終了研究課題の事後評価結果(案)について

- 事務局から、前回の事後評価部会において事後評価(ヒアリング審査)を実施した以下①から⑥の平成28年度終了研究課題について、事後評価部会委員の評価コメントや意見に基づき事務局で取りまとめた各課題の評価所見(案)が提示され、審議を行った。
- その結果、各委員からの意見を踏まえて事務局が評価所見(案)を修正し、同部会委員が内容を確認した上で、食品安全委員会に報告することになった。
- また、事後評価結果を踏まえて、今後開催予定の研究成果発表会及び専門調査会での発表課題の選定を行った。

<事後評価対象課題>

- ①1301: ヒト型遺伝子改変マウスを用いた非定型BSEの人に対する感染リスクの定量的評価(国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門: 松浦裕一)
- ②1501: 農薬の毒性評価における「毒性プロファイル」と「毒性発現量」の種差を考慮した毒性試験の新たな段階的評価手法の提言—イヌ慢性毒性試験とマウス発がん性試験の必要性について—(国立医薬品食品衛生研究所: 小野敦)
- ③1504: 家畜とヒトとの間における薬剤耐性菌の循環に関する分子疫学および時空間比較ゲノム解析(名古屋大学: 荒川宜親)
- ④1505: 食品に対する乳児期のアレルギー性反応獲得メカニズムと発症リスク評価(徳島大学: 木戸博)
- ⑤1506: 食品ごとの「IgE抗体の作らせやすさ」を測定する系の樹立に関する研究(国立研究開発法人国立成育医療研究センター: 斎藤博久)
- ⑥1507: 食品由来のアクリルアミド摂取量の推定に関する研究(国立研究開発法人国立環境研究所: 河原純子)

—以上—

(注: 本部会は個別具体的な研究者や研究課題名及び研究の内容に言及して議論が行われることから、非公開で行った。このため、本会議の議事概要についても、それらが特定されない形で公表するものである。)